

柏市水道事業運営審議会 資料

平成29年度決算
ポイント解説

水道部 総務課
H31.2.21

収益的収支

給水人口：398,845人（前年度比 3,823人・0.98%増）

年間給水量：40,416千m³（前年度比319千m³・0.80%増）

千円：税抜 ※（ ）は内書き

	平成29年度	平成28年度	増 減
営業収益	7,389,359	7,318,974	70,385
（内 給水収益）	(7,030,575)	(6,973,609)	(56,966)
営業費用	6,379,087	6,102,884	276,203
営業外収益	838,498	798,614	39,884
（内 長期前受金戻入）	(828,821)	(789,824)	(38,997)
営業外費用	150,774	166,231	△ 15,457
特別利益	0	0	0
特別損失	2,878	1,006	1,872
当年度純利益	1,695,118	1,847,467	△ 152,349
その他未処分利益 剰余金変動額	1,057,643	1,276,273	△ 218,630
当年度未処分利益 剰余金	2,752,761	3,123,740	△ 370,979

剰余金処分

未処分利益剰余金は、柏市水道事業設置条例の定めと、市議会の決算認定により処分されます。

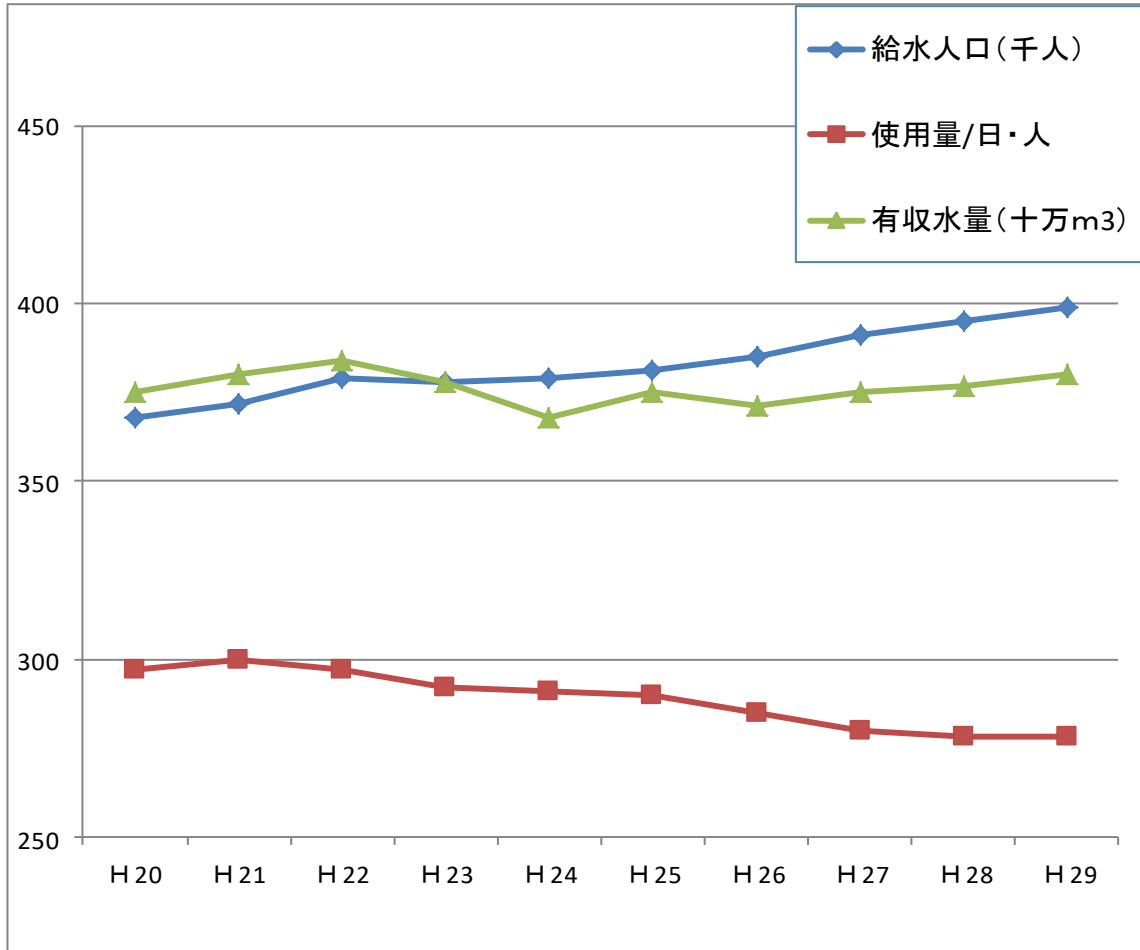
共に、資本的支出の補てん財源として、活用するものです。

千円:税抜

	平成29年度	平成28年度	増 減
未処分利益剰余金	2,752,761	3,123,740	△ 370,979
資本金への組入	1,886,464	2,066,097	△ 179,633
議決による処分	866,297	1,057,643	△ 191,346
減債積立金	487,404	459,307	28,097
建設改良積立金	378,893	598,336	△ 219,443

給水量の推移

少世帯化, 高齢化, 節水機器の普及, 大口の地下水利用
 ⇒ 一人当たりの使用量が減少し, 給水量は伸び悩み

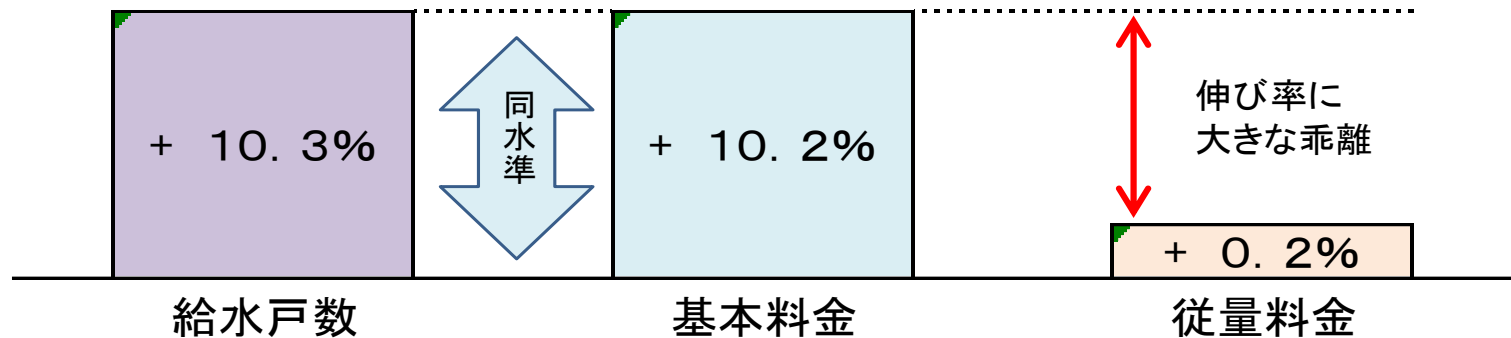


	H20	H24	H29	単位
給水人口	368	379	399	千人
使用量/日・人	297	291	278	リットル
有収水量	375	368	380	十万m ³

検証

使用水量減少が及ぼした影響を平成24年度との比較で試算

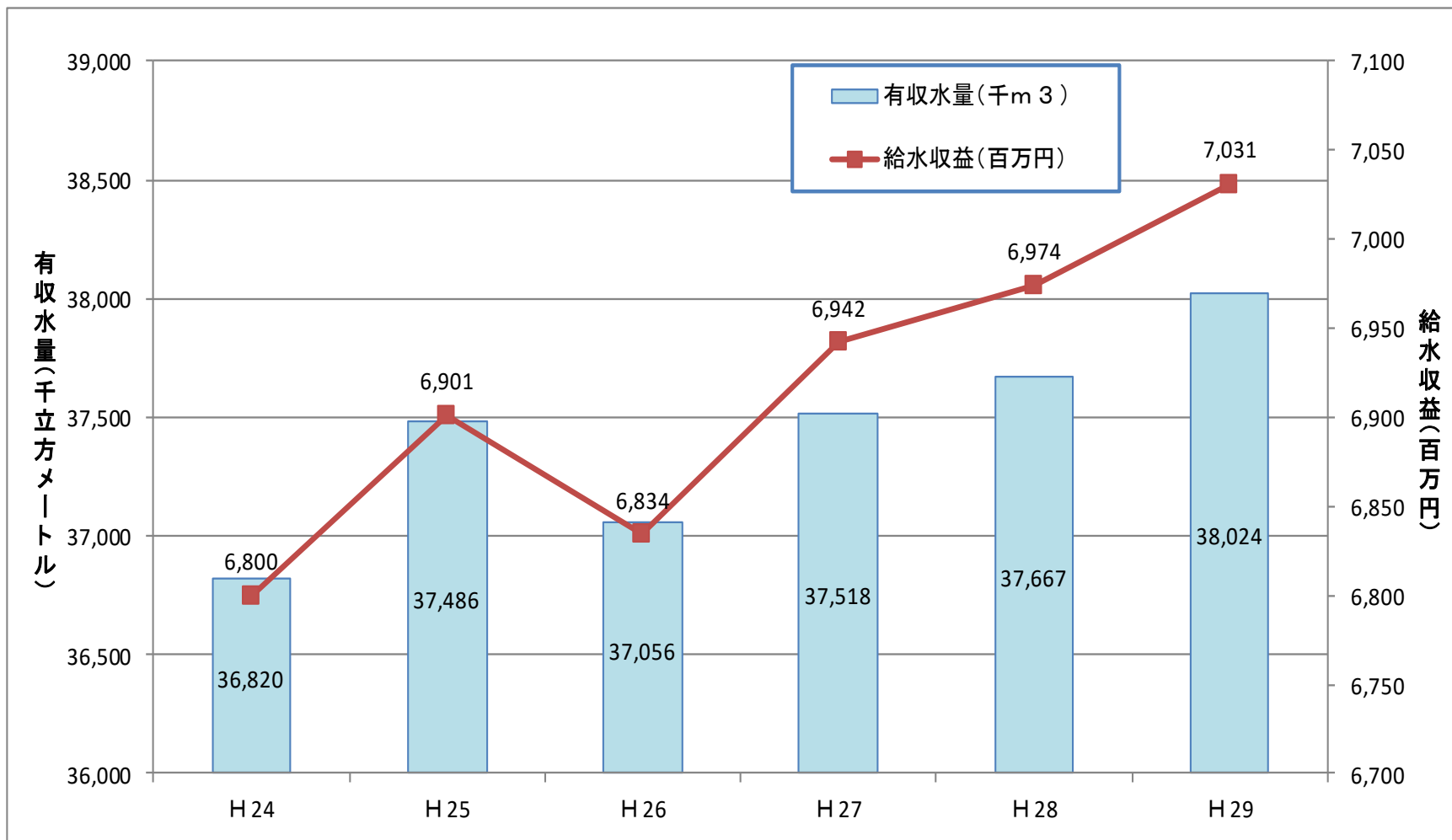
- ・1人1日あたり使用量の減は？
(H29) 278L - (H24) 291L = Δ 13L
- ・使用者一人当たりの年間使用量の減は？
 $13L \times 365日 = 4,745L = 4.7m^3/人$



平成24年度との比較において、給水戸数と基本料金は、ほぼ同じ水準で伸びているのに対し、従量料金の伸びは給水戸数の伸びを大きく下回っている

給水収益

直近の4年間は、有収水量の伸びに連動し、給水収益も伸びている



資本的収支

資本的支出は、設備投資に係るものであり、現金主義的な側面から税込み表示としています。

千円 / 税込 ※()は内書き

	平成29年度	平成28年度	増減
資本的収入	1,007,485	895,475	112,010
(内 企業債)	(0)	(0)	(0)
(内 給水申込納付金)	(802,425)	(673,204)	(129,221)
資本的支出	5,217,275	3,370,660	1,846,615
(内 建設改良費)	(4,757,936)	(2,895,648)	(1,862,288)
(内 企業債償還金)	(459,307)	(475,012)	(△ 15,705)
収支差し引き	△ 4,209,790	△ 2,475,185	△ 1,734,605

補てん財源

投資的費用（資本的支出）に係る収入不足を補うのは、利益から生じた積立金と減価償却費

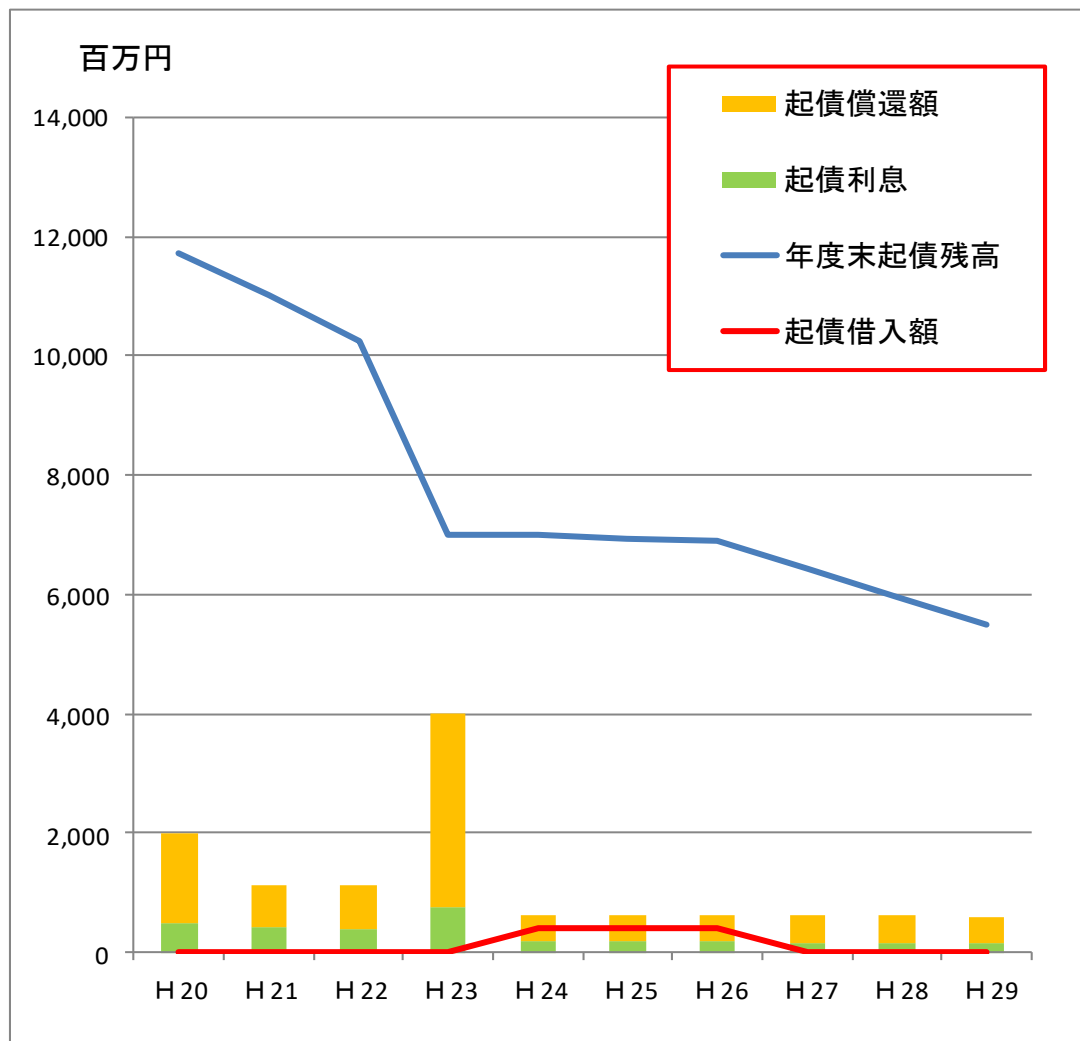
(千円)

財 源	平成29年度使用額	残 高
資本的収支 消費税調整額	274,183	0
積立金 (減債・建設改良)	1,057,643	0
損益勘定留保資金	2,877,964	7,114,984
合 計	4,209,790	7,114,984

※29年度繰越工事額等（未完成・翌年度以降支払） 1,519,303千円
 損益勘定留保資金実質残高 5,595,681千円

起債残高の推移

起債借入額の抑制や、繰上償還等により、この10年間で起債残高は約半分に減少しました。



百万円

	H20	H29
年度末起債残高	11,709	5,510
起債利息	495	143
起債償還額	1,503	459
起債借入額	0	0